KDDI Smart Mobile Safety Manager(SMSM)におけるiOS（iPadOS含む）の影響について

2023.11.10　Ver.3.6
KDDI株式会社

Tomorrow, Together
KDDI

概要（全端末向け制約事項）

■iOS、iPadOS　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①構成プロファイル - モバイル通信	モバイル通信設定(APN設定)をSMSMから行った後、別の構成プロファイルに切り替えてSMSMの同期が行われると、先に設定されていたモバイル通信設定が消え、モバイル通信が行えない状態になる。	Apple問い合わせ中

概要（全端末向け制約事項）

■iOS17、iPadOS17　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
	iOS17にて新規に発生した制約事項はありません	

概要（全端末向け制約事項）

■iOS16、iPadOS16　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）	「指定した Web サイトのみ 」に、一部一致しているURLが設定している場合、URLにアクセスできない。	OSバグ
②構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）	「指定した Web サイトのみ 」の設定で特定のURLを指定し、iOS16.4.1以降の端末で設定した特定のURLへアクセスした場合、画面が白くなりWebページが表示されない。	OSバグ

iOS16.5にて解消済み

概要（全端末向け制約事項）

■iOS15、iPadOS15　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①監視対象モードによる制御機能	構成プロファイル「すべてのコンテンツと設定の消去」を許可を禁止としていても、「すべてのコンテンツと設定を消去」が禁止できず、端末の工場出荷状態へのリセットを禁止できない iOS15.1にて解消済み	OSバグ
②MDM再インストール	MDMを再認証すると(構成プロファイルの上書きインストール)認証が完了せずに失敗する iOS15.4にて解消済み	OSバグ
③Wi-Fi設定	AC2のWi-Fi設定で「関連付けを回避するためのMACランダム化を無効にする」にチェックを入れたプロファイルを割り当てたときに、非監視対象端末で設定が割り当たらない	OSバグ

概要（iPadOS15 の制約事項）

■iPadOS15　で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①エージェント認証	iPadのSlide Overにてエージェント認証を行うと、本来、認証後に表示される位置情報の利用について許可を求めるポップアップが表示されない iOS16.1にて解消済み	OSバグ
②ASM(Shared iPad)	iPadOS15.2以上の端末に対しShared iPadとしてキッティングすると、端末が操作できなくなる ※iPadOS15.1以下のShared iPadを編集やiPadOSのバージョンアップデートした場合も同様に、端末を操作できなくなります iOS15.4にて解消済み	OSバグ

概要（iOS15 の制約事項）

■iOS15 で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①MDMライセンス認証	MDMライセンス認証画面で「非対応ブラウザーの可能性があります。対応ブラウザーは「Safari」です」と表示される　※iOS15.7以降	Apple問い合わせ中

iOS16.1にて解消済み

概要（全端末向け制約事項）

■iOS14 以前、iPadOS14 以前　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①位置情報取得	iOS14以降の場合、正確な位置情報を取得できない場合があります。	OSの仕様変更のため
②ポータル	端末の初回MDMライセンス認証時、端末にプロファイルがインストールされない場合があります。	iOS14.3にて解消済み iOS14.3、iPadOS14.3では発生しない
③ADEキッティグ	ADEキッティングを行う際に、キッティングの途中で言語設定に戻りキッティングが行われる。これにより、2度言語設定を行うことになる。キッティング自体は成功する。	iOS14.3にて解消済み OSバグ
④カメラ(QRコード読み取り)	コントロールセンターのQRリーダーが非表示設定の構成プロファイルを適用後、端末を再起動するとカメラアプリでQRコードが読み取れない	iOS15にて解消済み OSバグ
⑤xamarin製アプリ利用不可	COCOAなど、xamarin製アプリをアプリケーション配信にて管理有効化で配信するとアプリクラッシュする	iOS14.4にて解消済み iOS14.4 、iPadOS14.4では発生しない
⑥OSアップデート指示	OSアップデート遅延を割り当て且つ端末上に表示されるインストール可能なOSが遅延させていたOS(市場最新ではない)状態で、管理サイトからOSアップデート指示を出すとアップデートができない。	OSバグ
⑦構成プロファイル配信	同一ペイロードに異なる値が設定されたプロファイルのインストール/アンインストールで端末が暗転（強制終了）してしまう	iOS14.3にて解消済み OSバグ
⑧ADEキッティング（パスコード）	ADE定義プロファイルで「指紋認証の設定を省略する」を選択、「パスコードを省略する」を未選択の設定を作成し機器にインストールしセットアップを進めると端末側で「パスコードを作成」画面が表示されない	iOS14.7にて解消済み OSバグ

概要（全端末向け制約事項）

■iOS14 以前、iPadOS14 以前　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
⑨構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）	構成プロファイル「コンテンツフィルタ設定」にて、同一のURLに対し、「名前」を変更して再度端末に構成プロファイルをインストールしてもSafariのブックマークに「名前」が反映されない	OSバグ
⑩エージェント（位置情報取得許可）	エージェントを起動すると位置情報取得許可を求めるポップアップが出るが、「常に許可」の項目が表示されません。	OSの仕様変更のため
⑪アプリケーション配信	省データモードがONになっていると、管理対象のアプリの配信ができません。	OSの仕様変更のため
⑫アプリケーションアップデート	省データモードをONをしている場合に管理サイトからアップデート設定を割り当てていると自動アップデートができません。	OSの仕様変更のため
⑬構成プロファイル	一部制限項目が非監視対象端末で制限できなくなります。 ※ただし、iOS12からバージョンアップの場合は非監視対象端末でご利用可能です。	OSの仕様変更のため
⑭位置情報更新	省データモードをONにすると位置情報の自動更新ができません。	OSのバグ
⑮構成プロファイル（削除防止）	非監視対象端末で「削除防止(PW)」にチェックを入れた構成プロファイルをインストールすることができません。 ※iOS13.0以降の制約事項 ※iOS13.3以降では削除防止(削除禁止)の構成プロファイルでも構成プロファイルを削除できてしまいます。	OSの仕様変更のため
⑯Appとブック(旧VPP）の書籍配信	ユーザーVPPで、書籍のVPPライセンスを付与し同期しても書籍が自動でダウンロードできません。 ※iOS 13.3 から制約事項	OSのバグ
⑰アプリケーション配信	省データモード中、管理対象のアプリをサイレントインストールできません。 ※インストールを促すポップアップが出て、ユーザー操作によってインストール可能	OSの仕様変更のため

iOS13.1にて解消済み

iOS13.3にて対応済み

iOS14.3にて解消済み

概要（全端末向け制約事項）

■iOS14 以前、iPadOS14 以前　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
⑱エージェント(位置情報)	エージェントで位置情報を取得していると、定期的に位置情報取得の許可を求めるポップアップが表示されます。	OSの仕様変更のため
⑲構成プロファイル（削除防止） ※非監視対象	非監視対象端末で削除防止(PW)プロファイルをインストールすることができません。 ※削除禁止のプロファイルはインストールできる	OSの仕様変更のため
⑳構成プロファイル（削除防止） ※非監視対象	非監視対象端末で削除禁止構成プロファイルをインストール後、端末操作で削除できてしまいます。	OSのバグ
㉑アプリケーション配信（Per app VPN）	アプリケーション配信した時、Per app VPN設定が反映されない場合があります。	OSのバグ
㉒DEP定義プロファイル	DEP定義プロファイルの以下の項目について、選択内容にかかわらず「はい」を選択したときの動きになります。 ・MDM登録を必須とする ・監視対象モードに設定する	OSの仕様変更
㉓MDM認証（再認証）	SMSMを再認証すると (構成プロファイルを上書き再インストール)パスコード削除ができなくなります。 ※AC2 での パスコード削除も不可能。パスコード削除はできるが、端末を初期化される	OSの仕様変更
㉔同期不可検知	通信できない状態（機内モード等）で構成プロファイルを削除し、管理サイトから同期を行っても同期不可検知ができません。	次期バージョンアップで対応予定
㉕OSアップデート指示（OSインストール）	OSインストールを実施すると、1回目にエラーが表示される。	OSバグ

iOS14.3にて解消済み

iOS15.3にて解消済み

概要（全端末向け制約事項）

■iOS14 以前、iPadOS14 以前　共通で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
㉖構成プロファイル(OSアップデート)	最新OSverに比べて古いOSに対し、OSアップデート遅延の構成プロファイルを割り当てたときに遅延させていたOSにアップデートできない	OSバグ
㉗Webクリップ	縦横の比率が異なる画像でWebクリップ作成時、Webクリップアイコンが正しく表示されない	OSの仕様変更のため
㉘エージェント（メッセージ通知）	スクリーンタイムでエージェント制限中にメッセージの通知が表示されない ※iOS12.0 より事象発生	OSの仕様変更のため
㉙アプリケーション配信（Appとブック）	初期状態の端末に対して、標準アプリが管理化、 VPPライセンス割り当て出来ない （Keynote/Pages/Garageband/Clips等） ※iOS12.3.0 より事象発生	OSのバグ
㉚BypassCode取得	iOS11.3 以降、端末再起動後にスクリーンロック解除せず同期すると、Bypass Code 取得時に失敗するため [MCMDMErrorDomain: エラーが出ます。iOS11.0 以上 11.3 未満、端末再起動後にスクリーンロック解除せず同期すると、Bypass Code 取得時に失 敗するため [MCMDMErrorDomain: エラーが出ます。	Apple より iOS11 からの 仕様と回答有り
㉛ADE 定義プロファイル	iOS11.0 以降、ADE 定義プロファイルで「 Apple ID での サインインを有効にしない」を「はい」に設定した ADE 端 末で「クイックスタート」機能を利用すると、AppleID の引継がスキップされます。	10/23 Apple側 対応待ち
㉜Appとブック(旧VPP)	VPPユーザーライセンスでアプリケーション配信ができません (iTunes Storeの同意(Agree)が押下できません) ※iOS12.2 より事象発生	9/30 Apple側対応待ち

iOS15にて対応済み

※次期メジャーOSで再発の可能性有

iOS 13.2 にて解消済み

概要（iPadOS14 以前の制約事項）

■iPadOS14 以前で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①機器情報（ローミング)	iPad Wi-Fi + Cellularモデルにて、SIMなし状態でローミング情報が正しく取得できない	OSの仕様
②ABM (Shared iPad)	ABMでShared iPadを利用する場合、「教育」パッケージをONにする必要があるが、画面上ASM向けの文言になっています。	OSの仕様変更

概要（iOS14 以前の制約事項）

■iOS14 以前で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①メッセージ通知	**iOS14以降のiPhone**で、メッセージ通知のオプション「端末での表示時にURLをリンクにする」を有効にしてURLを含んだメッセージを配信しても、iOSエージェントのメッセージ画面でURLリンクがタップできない	対応検討中

概要（iPadOSのみ制約事項）

■iPadOSのみで影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
③アプリケーション配信(自動バージョンアップ)	管理対象アプリポリシーで「自動的にバージョンアップする」をONにしてアプリケーション配信をしても、自動的にバージョンアップされないことがあります。	9/30 Apple側対応待ち

iOS13.0、iPadOS13.1.2 にて解消済み

概要（一部端末向け制約事項）

■Dual SIM端末で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①アクティベーションロック解除	iPhoneXS Max、iPhone XS、iPhone XR以降で発売されている端末(iPadも含む)でアクティベーションロック解除ができません。	次期バージョンアップで対応予定

■iPhone12系端末で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①OSアップデート	iPhone12系端末かつ監視対象端末（iOS14.3、14.4）でOSアップデートできない iOS14.3にて解消済み	OSバグ

■iPhone SE （第３世代）端末で影響のある機能

機能	影響概要	調査状況
①キッティング	iPhone SE（第3世代）（iOS15.4、iOS15.4.1）でモバイルデータ通信でのキッティングに失敗する。 iOS15.5にて解消済み	OSバグ

全端末向け制約事項

※iOS , iPadOS 共通

①構成プロファイル-モバイル通信

2023年3月20日追加

モバイル通信設定(APN設定)をSMSMから行った後、別の構成プロファイルに切り替えてSMSMの同期が行われると、先に設定されていたモバイル通信設定が消え、モバイル通信が行えない状態になる。

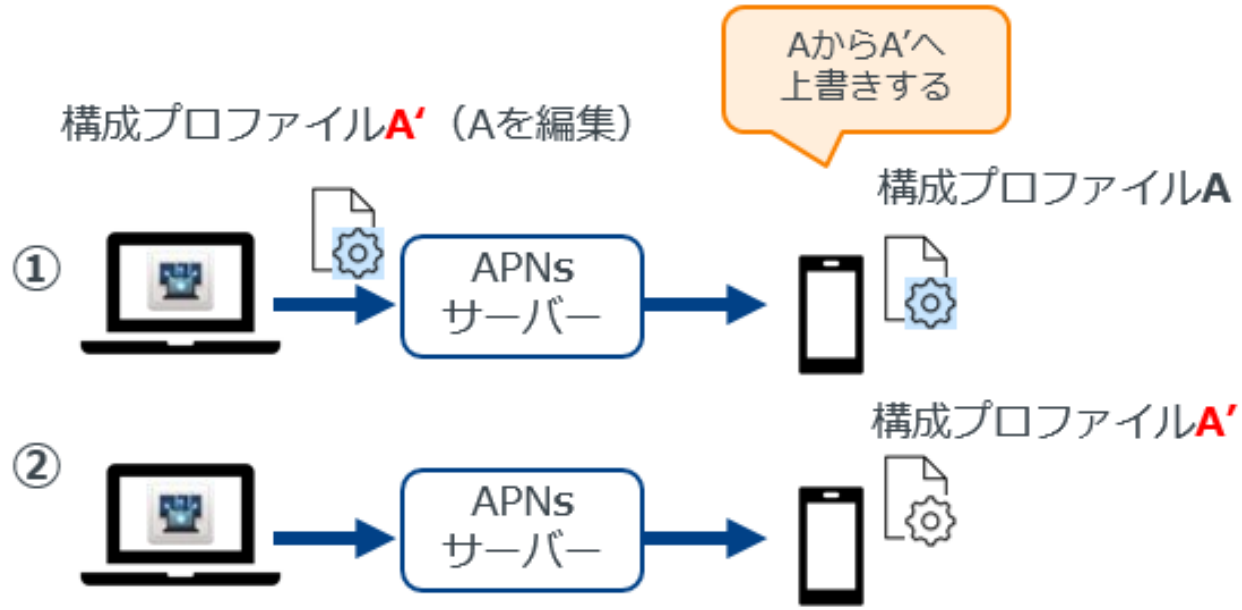
(設定 ＞iOS ＞構成プロファイル)

回避策

・既に端末に割りあたっている既存の構成プロファイルを更新する運用でご対応ください。
・端末がWi-Fi通信が可能な状態であれば、別の構成プロファイルに切り替えることができます。

復帰方法

・端末をWi-Fiに接続した状態で、再度構成プロファイルの配信を実施してください。



全端末向け制約事項

※iOS16,iPadOS16共通

①構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）

2023年4月26日追加

「指定した Web サイトのみ 」に、
部分一致しているURLが設定されている場合、URLにアクセスできない。

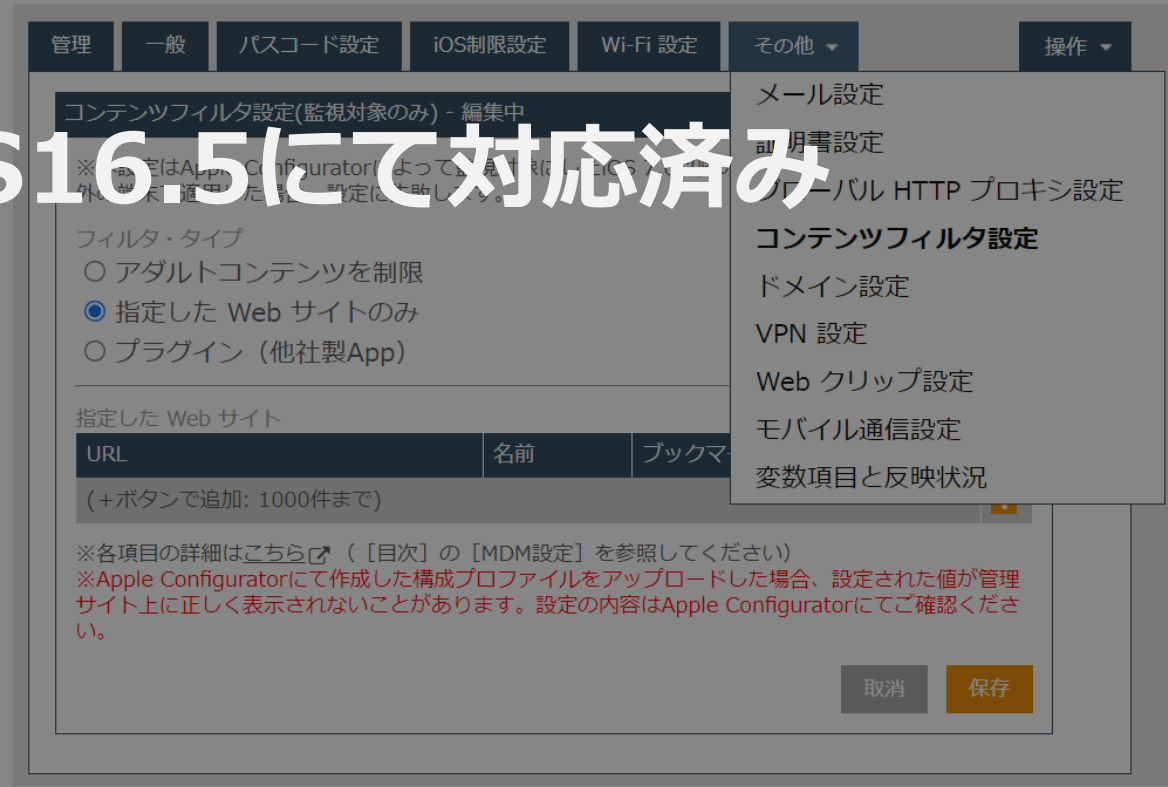
回避策

・アクセスが出来なかったURLを「指定した Web サイトのみ 」に追加設定して下さい。

復帰方法

・なし

（ 設定 ＞iOS ＞構成プロファイル ）



iOS16.5にて対応済み

②構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）

2023年6月19日追加

「指定したWeb サイトのみ 」の設定で特定の URL を指定し、iOS16.4.1 以降の端末で設定した特定の URL へアクセスした場合、画面が白くなり Web ページが表示 されない。

(設定 ＞iOS ＞構成プロファイル)

回避策

・なし

復帰方法

・なし

全端末向け制約事項

※iOS15,iPadOS15共通

①監視対象モードによる制御機能

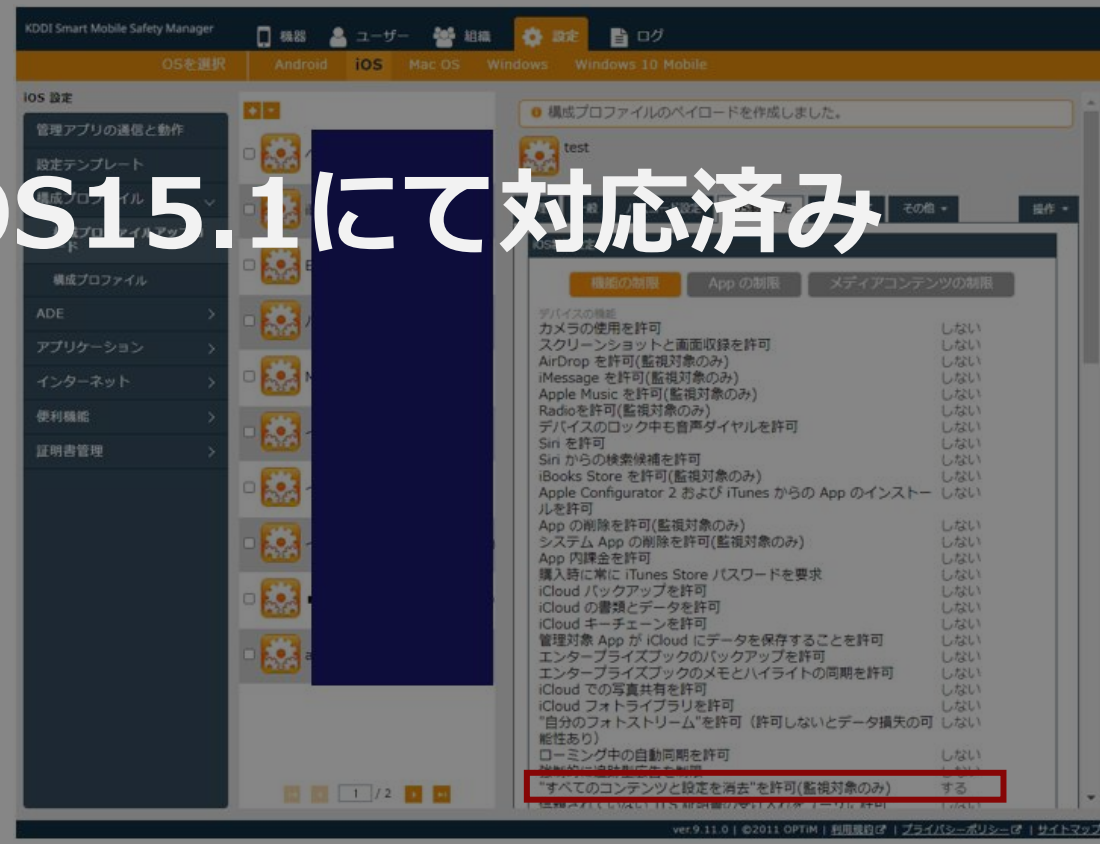
2021年9月22日更新

構成プロファイル「すべてのコンテンツと設定の消去を許可」を禁止としていても、「すべてのコンテンツと設定を消去」が禁止できず、端末の工場出荷状態へのリセットを禁止できない。

(設定 ＞iOS ＞構成プロファイル ＞ 構成プロファイルアップロード ＞ iOS制限設定)

回避策

・なし。



iOS15.1にて対応済み

②MDM再インストール

2022年４月７日更新

MDMを再認証すると(構成プロファイルを上書き再インストール)認証が完了せずに失敗する。

(設定 ＞iOS ＞構成プロファイル ＞ 構成プロファイル)

回避策

・インストール済みMDM構成プロファイルを一旦アンインストールを行い、ダウンロード済みのMDMをインストールする。

復帰方法

・ダウンロード済みプロファイルを削除する。

iOS15.4にて対応済み

③Wi-Fi設定

2022年11月20日更新

AC2のWi-Fi設定で「関連付けを回避するためのMACランダム化を無効にする」にチェックを入れたプロファイルを割り当てたときに、非監視対象端末で設定が割り当たらない。

(設定 ＞iOS ＞構成プロファイル ＞ 構成プロファイル)

回避策

・なし。

復帰方法

・なし。

iPadOS15　のみで発生している制約事項

①エージェント認証

2021年9月22日更新

iPadのSlide Overにてエージェント認証を行うと、本来、認証後に表示される位置情報の利用について許可を求めるポップアップが表示されない。

（ 位置情報許可のポップアップ ）

回避策

・SlideOverを解除し、画面上にてアプリを1つだけ表示した状態で認証を進める。

iOS16.1にて対応済み

②ASM(Shared iPad)

2022年４月７日更新

iPadOS15.2以上の端末に対しShared iPadとしてキッティングすると、端末が操作できなくなる
※iPadOS15.1以下のShared iPad端末をiPadOS15.2以上にアップデートした場合も同様に、端末を操作できなくなります

回避策

・OSアップデートについて、
しばらくお控えいただく。

iOS15.4にて対応済み

復帰方法

・現状Shared iPadとして復帰することができません

Shared iPad以外で復帰させる場合はShared iPadの定義プロファイルを外していただき、リカバリーモードからの復元にて、端末が操作できる状態へ復帰させることができます

全端末向け制約事項

※iOS14 以前,iPadOS14 以前 共通

①位置情報取得

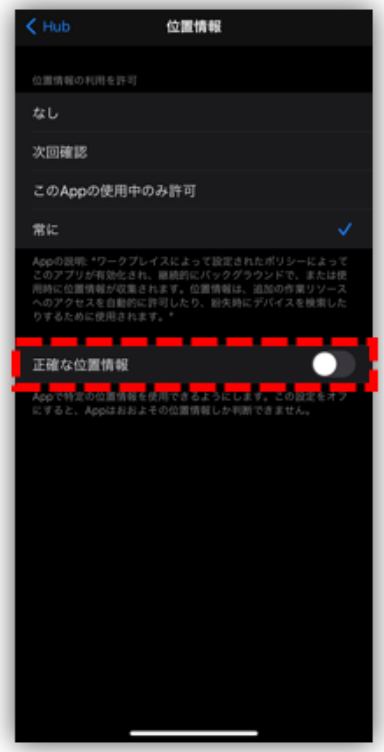
2020年10月2日更新

iOS14以降の場合、正確な位置情報を取得できない場合があります。

回避策

・正確な位置情報を有効にすることで位置情報の取得制度を上げることが可能です。

（　設定＞位置情報 ＞正確な位置情報 を有効にする）



②ポータル

2020年10月23日更新

端末の初回MDMライセンス認証時、端末にポータルがインストールされない場合があります。

回避策

・発生した機器に同期を行う。同期をするとポータルがインストールされます。

（ 機器＞対象の機器 ＞詳細 ＞ 同期）

iOS14.3にて解消済み

④カメラ（QRコード読み取り）

2021年2月25日更新

コントロールセンターのQRリーダーが非表示設定の構成プロファイルを適用後、端末を再起動するとカメラアプリでQRコードが読み取れない。

回避策

iOS14.1以外：端末を再起動しない
iOS14.1：なし
※ allow-list(構成プロファイル＞App の使用を制限＞App許可リスト）に以下の2つを追加後、
端末再起動することにて現象を回避できる
com.apple.barcodesupport.qrcode
com.apple.barcodesupport.nfc

iOS15にて解消済み

復帰方法

iOS14.1以外：該当の構成プロファイルを削除して、端末の再起動で復帰可能
iOS14.1：なし

＜補足＞
・iOS14.1のみ回避策・復帰方法がなしの理由
本事象は、端末再起動を契機に発生します。
ですが、iOS14.1のみ「コントロールセンターのQRリーダーが非表示」に設定した構成を、
インストールすることが契機となり、QRコードが利用できません。

⑥OSアップデート指示

2021年7月23日更新

OSアップデート遅延を割り当て且つ端末上に表示されるインストール可能なOSが遅延させていたOS(市場最新ではない)状態で、管理サイトからOSアップデート指示を出すとアップデートができない。

回避策

・「OSのダウンロードまたはインストール」を使わず「OSのダウンロードのみ」「ダウンロード済みのOSをインストール」の順番でアップデート指示を出す。
※上記手順でもアップデートできない場合は、OSアップデート遅延の構成プロファイルを外して実行してください。

・OSダウンロード完了後からインストールまでの間に端末上の「ソフトウェア・アップデート」画面を抜けない。
※「ソフトウェア・アップデート」画面を抜けてしまうとダウンロードしていたOSデータが消えてしまいます。
ダウンロードしたOSデータが消えてしまったら、OSダウンロードからやり直してください。

復帰方法

なし

⑨構成プロファイル（コンテンツフィルタ設定）

2022年9月29日更新

構成プロファイル「コンテンツフィルタ設定」にて、同一のURLに対し、「名前」を変更して再度端末に構成プロファイルをインストールしてもSafariのブックマークに「名前」が反映されない。

回避策

なし

復帰方法

割り当てられている構成プロファイルを解除し、設定なしの状態で同期する。その後に管理サイトから構成プロファイルをアップロードし設定する

⑩エージェント（位置情報取得許可）

2019年9月23日更新

SMSMエージェントアプリをインストール後にポータルから自動認証すると位置情報取得許可を求めるポップアップで「常に許可」の項目がなくタップができません。

回避策

・端末の設定画面からiOSエージェントアプリに対して手動で位置情報取得を「常に」へ変更する。

（ 設定 ＞ プライバシー ＞ 位置情報サービス ＞ KDDI Manager）

⑪アプリケーション配信

2019年9月23日更新

省データモード中に監視対象のアプリケーション配信（アプリカタログ含む）しても配信ができません。

回避策

・省データモードをOFFにし配信する。または省データモードがOFFのWi-Fiアクセスポイントに接続する

（設定 > バッテリー ）

iOS13.1にて解消済み

⑫アプリケーションアップデート

2019年9月23日更新

省データモード中にアプリケーションの自動アップデート設定を配信しても自動アップデートが行われません。

回避策

・省データモードをOFFにする。または省データモードがOFFのWi-Fiアクセスポイントに接続する

・または手動でApp Storeからアップデートをタップする

（設定 > バッテリー ）

⑬構成プロファイル

2019年9月23日更新

構成プロファイルにて一部設定可能な制限項目が非監視対象端末では制限がかからなくなります。

回避策

・監視対象モードにして再度構成プロファイルを当ててください。

(設定 > 構成プロファイル > 構成プロファイルアップロード > iOS制限設定

※iOS12で設定中だった「非監視対象端末」の場合、そのままiOS13にバージョンアップしても引き続き「非監視対象端末」でも制限されますが、端末を初期化すると「監視対象端末」にしないと制限ができなくなります。

iOS13 監視対象モードのみで制限できる機能
【機能の制限】
- 「Apple Configurator 2 および iTunes からの App のインストールを許可」
- 「iCloud の書類とデータを許可」

【Appの制限】
- 「iTunes Store を許可」
- 「Game Center を許可(監視対象のみ)」の配下の「Game Center の友人の追加を許可」

【メディアコンテンツの制限】
- 「不適切なミュージック、Podcast、iTunes U の再生を許可」

⑭位置情報更新

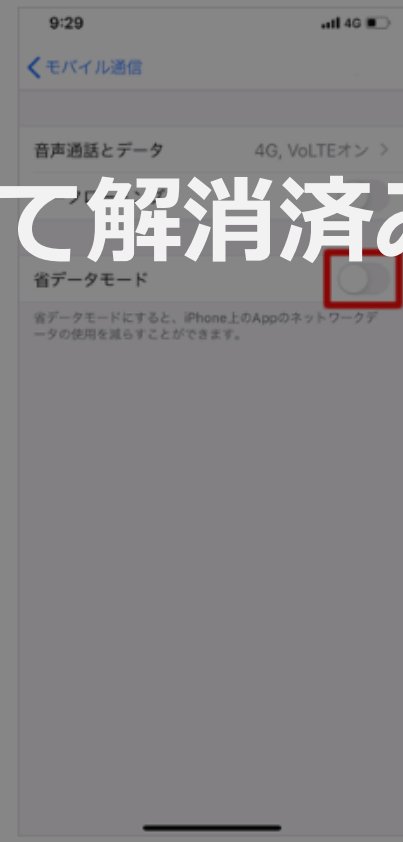
2020年1月6日更新

省データモード中に管理サイトから位置情報の更新を行っても位置情報が取得できません。

回避策

・省データモードをOFFにする。または省データモードがOFFのWi-Fiアクセスポイントに接続する

（設定 ＞ モバイル通信 ＞ 通信のオプション ＞ 省データモード ）



iOS13.3にて解消済み

⑮構成プロファイル（削除防止）

2020年1月9日更新

●iOS13以降
非監視対象端末に対して、削除防止（パスワード）を設定した構成プロファイルを配信しても端末上でインストールができません。
●iOS13.3以降
非監視対象端末に対して、削除防止(削除禁止)を設定した構成プロファイルを配信しても、端末上では制御ができず削除ができてしまいます。

回避策

・端末を監視対象にする。

※iOS12以前で設定中の「削除防止」を設定していた場合、そのままiOS13以上にバージョンアップしても設定は引き続き「削除防止」で制限されます。

（設定 ＞ iOS ＞ 構成プロファイル＞ 削除防止）

⑯Appとブック(旧VPP ）の書籍配信

2020年1月9日更新

ユーザーVPPで、書籍のVPPライセンスを付与し同期しても書籍が自動でダウンロードできません。

回避策

・ライセンス付与後に手動にてダウンロードを行ってください。

（設定 > iOS > VPPライセンス ）

iOS14.3にて解消済み

⑰アプリケーション配信

2020年9月9日更新

省データモード中、管理対象のアプリをサイレントインストールできません。
※インストールを促すポップアップが出て、ユーザー操作によってインストール可能。

回避策

・非管理対象でアプリ配信を行う。

※監視対象モードでプロファイルを配信した場合は「省データモード」をOFFにしてください。

(設定 > iOS > 構成プロファイル> 監視対象モード 「いいえ」)

⑱エージェント（位置情報）

2020年9月9日更新

エージェントで位置情報を取得していると、定期的に位置情報取得の許可を求めるポップアップが出ます。

回避策

仕様のため回避策なし

「常に許可」を選択する（しばらくすると再びポップアップが出るため、完全に防ぐことはできない）。

（設定 > プライバシー > 「常に許可」を選択）

⑲構成プロファイル（削除防止）※非監視対象

2020年9月9日更新

非監視対象端末で削除防止(PW)プロファイルをインストールすることができません。
※削除禁止のプロファイルはインストールできます。

回避策

・端末を監視対象にしてください。
※OSの仕様となります。

（設定 ＞ iOS ＞ 構成プロファイル＞ 削除防止）

⑳構成プロファイル（削除防止）※非監視対象

2020年9月9日更新

非監視対象端末で削除禁止構成プロファイルをインストール後、端末操作で削除できてしまいます。

回避策

・端末を監視対象にしてください。
※OSの不具合となります。
　OS側で不具合対応待ちとなります。

（設定 ＞ iOS ＞ 構成プロファイル＞ 削除防止）

㉑アプリケーション配信（Per app VPN）

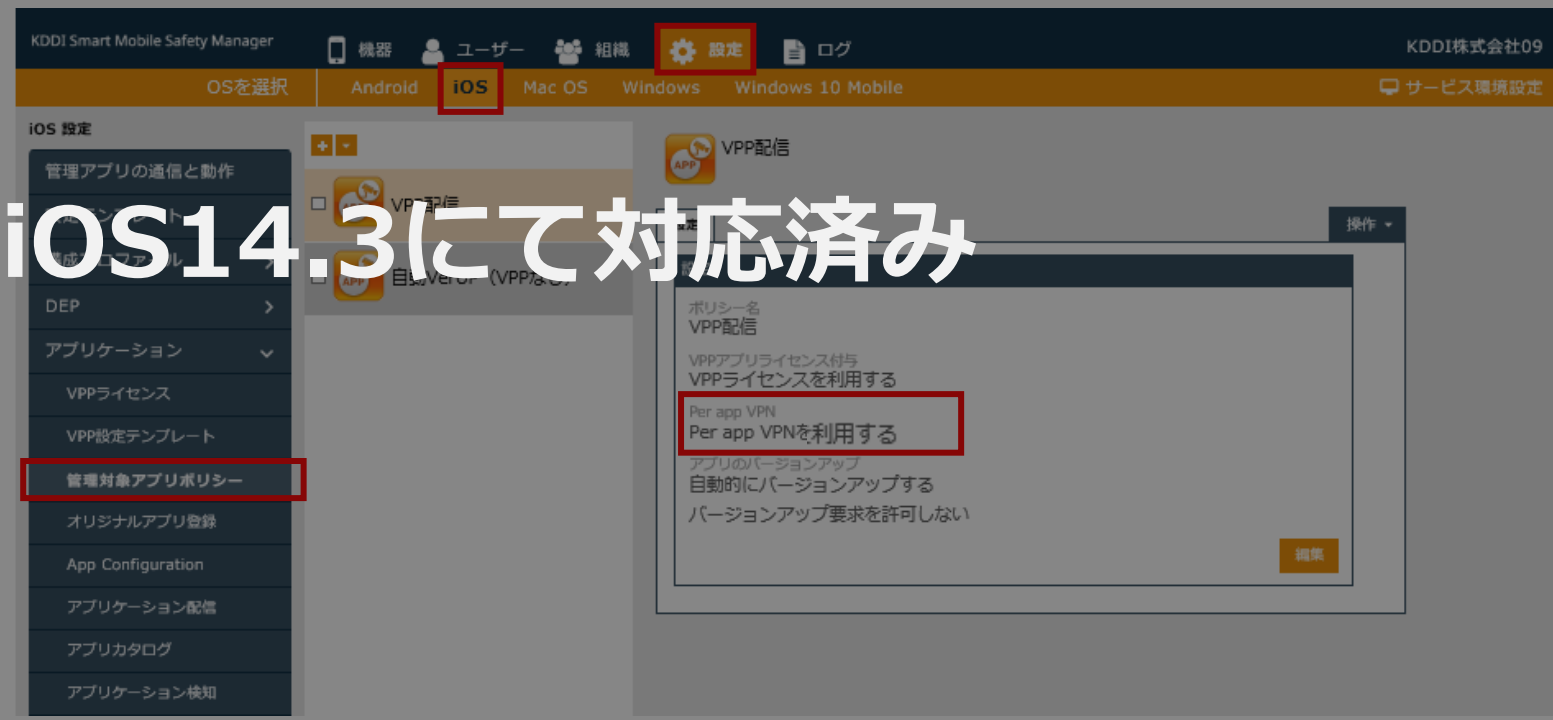
2020年9月9日更新

アプリケーション配信した時、Per app VPNの設定が反映されない場合があります。

回避策

・調査中。

（設定 > iOS > 管理対象アプリポリシー）



iOS14.3にて対応済み

㉒DEP定義プロファイル

2020年9月9日更新

DEP定義プロファイルの以下の項目について、選択内容にかかわらず「はい」を選択したときの動きになります。

・MDM登録を必須とする

・監視対象モードに設定する。

回避策

・OSの仕様変更のため回避策はありません。

（設定 ＞ iOS ＞ DEP定義プロファイル）

㉓MDM認証（再認証）

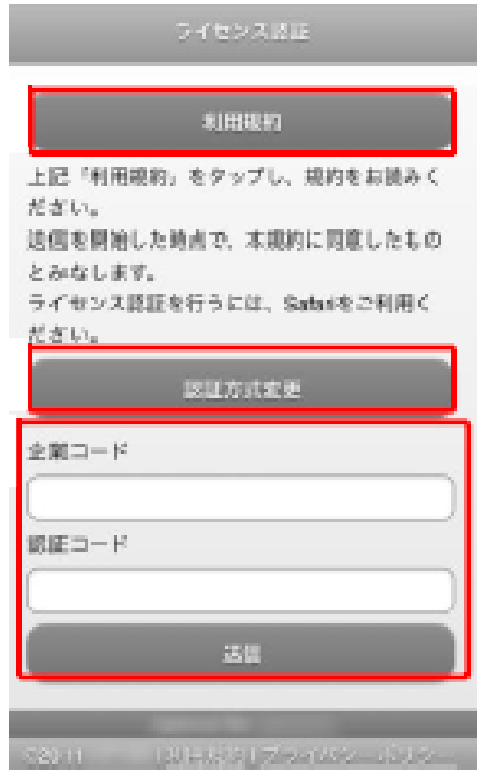
2020年9月9日更新

MDMを再認証すると(構成プロファイルを上書き再インストール)パスコード削除ができなくなります。
※AC2でのパスコード削除も不可能。パスコード削除はできるが、端末を初期化される。

回避策
OSの仕様変更のためとなります。

・MDM構成プロファイルを上書きで再認証しないこと（一度MDM構成プロファイルを削除してから再認証するのであれば発生しない）。

（ライセンス認証）



㉕OSアップデート指示（OSインストール）

2021年7月23日更新

OSインストールを実施すると、1回目にエラーが表示される。

回避策

OSインストールに失敗した際に再試行（Retry）ボタンを押下する。
もしくは、Cancelを押下して、もう一度、管理サイトからOSインストールを指示する。

iOS15.3にて解消済み

復帰方法

なし

㉖構成プロファイル(OSアップデート)

2021年7月23日更新

最新OSverに比べて古いOSに対し、OSアップデート遅延の構成プロファイルを割り当てたときに遅延させていたOSにアップデートできない。

回避策

該当端末の再起動やWi-Fiのオフ・オンなどを行い、複数回ソフトウェアアップデートを確認する。

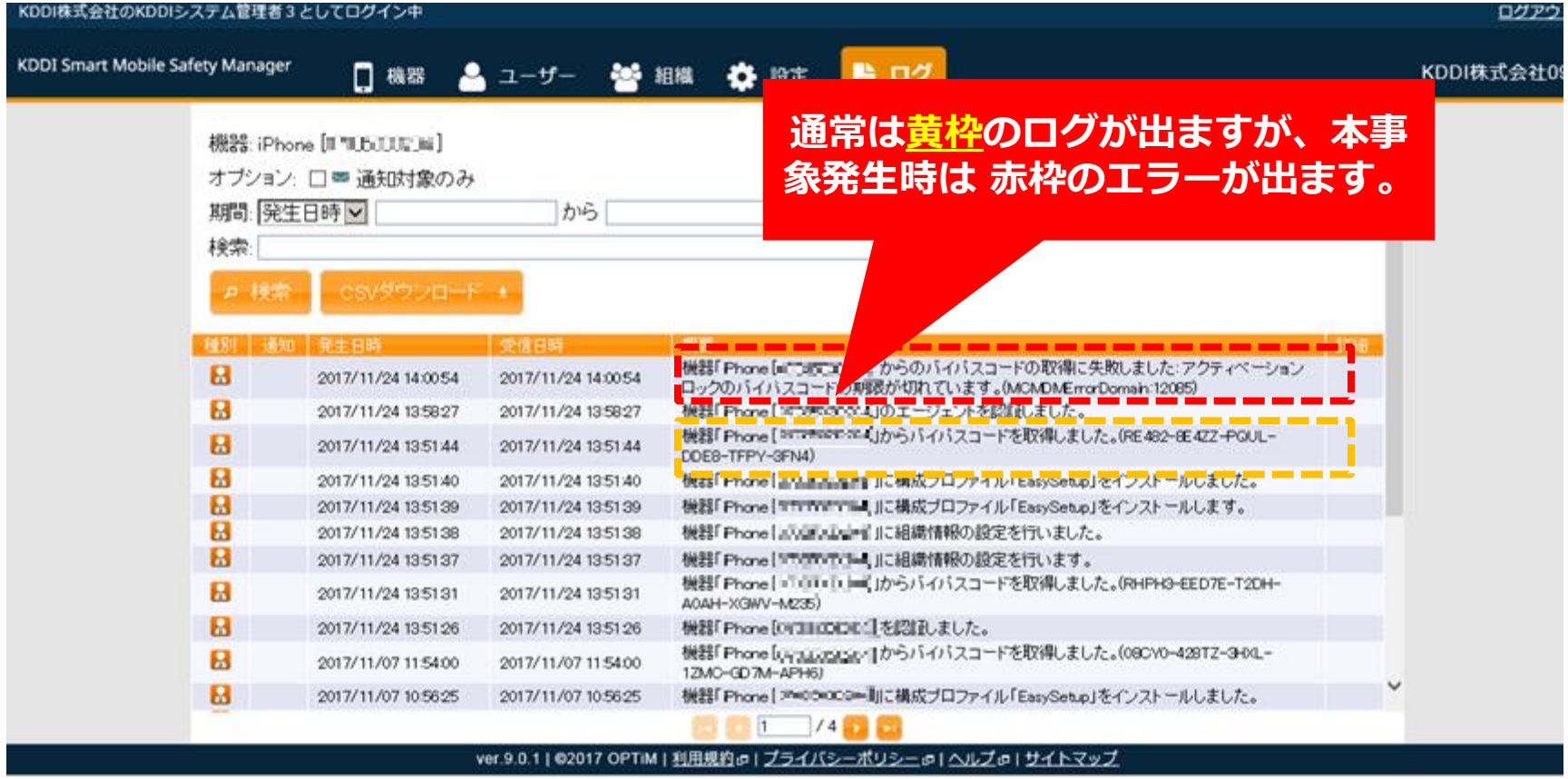
㉚Bypass Code 取得　について

端末再起動後にスクリーンロック解除せず同期すると、Bypass Codeの取得に失敗するため [MCMDMErrorDomain:12086]、または[MCMDMErrorDomain:12085] エラーが出ます。

回避策

・スクリーンロック解除をしてから同期してください。

右図：　iOS11.0以上
　　iOS11.3未満の場合の表示



㉛ADE定義プロファイル

ADE定義プロファイルで「Apple IDでのサインインを有効にしない」を「はい」に設定したADE端末で「クイックスタート（詳細は次スライド参照）」機能を利用すると、Apple IDの引継がスキップされます。　※その他Wi-Fi情報などは引き継がれます。

回避策

・キッティング前ADE定義プロファイルにて「Apple IDでのサインインを有効にしない」のチェックを外したプロファイルを適用する

・キッティング後（発生したあと）設定画面よりApple IDを手動入力する

【参考】クイックスタートとは

- iOS11の新機能で、機種変更時など変更前の iPhone に設定していた以下４つの情報を新しいiPhoneに設定をコピーする機能です。
  - 言語設定情報
  - キーボードの設定情報
  - Wi-Fiネットワークの設定情報・パスワード
  - Apple ID（パスワードはコピーされません、新しいiPhoneで入力が必要です）

- クイックスタート機能を利用しない場合、今までと変わらず、各情報を手入力で設定するメニューが表示されます。

【参考】Bypass Codeとは

- iOS7.1 以上の端末のアクティベーションロック(解除)の際に、管理サイト、端末およびアクティベーションサーバー(Apple)間のやり取りで発生する26 文字の英数字のコードのこと。通常、管理者や端末利用者が使用する必要はありませんが、Apple への確認や救済措置に必要なことがあります。

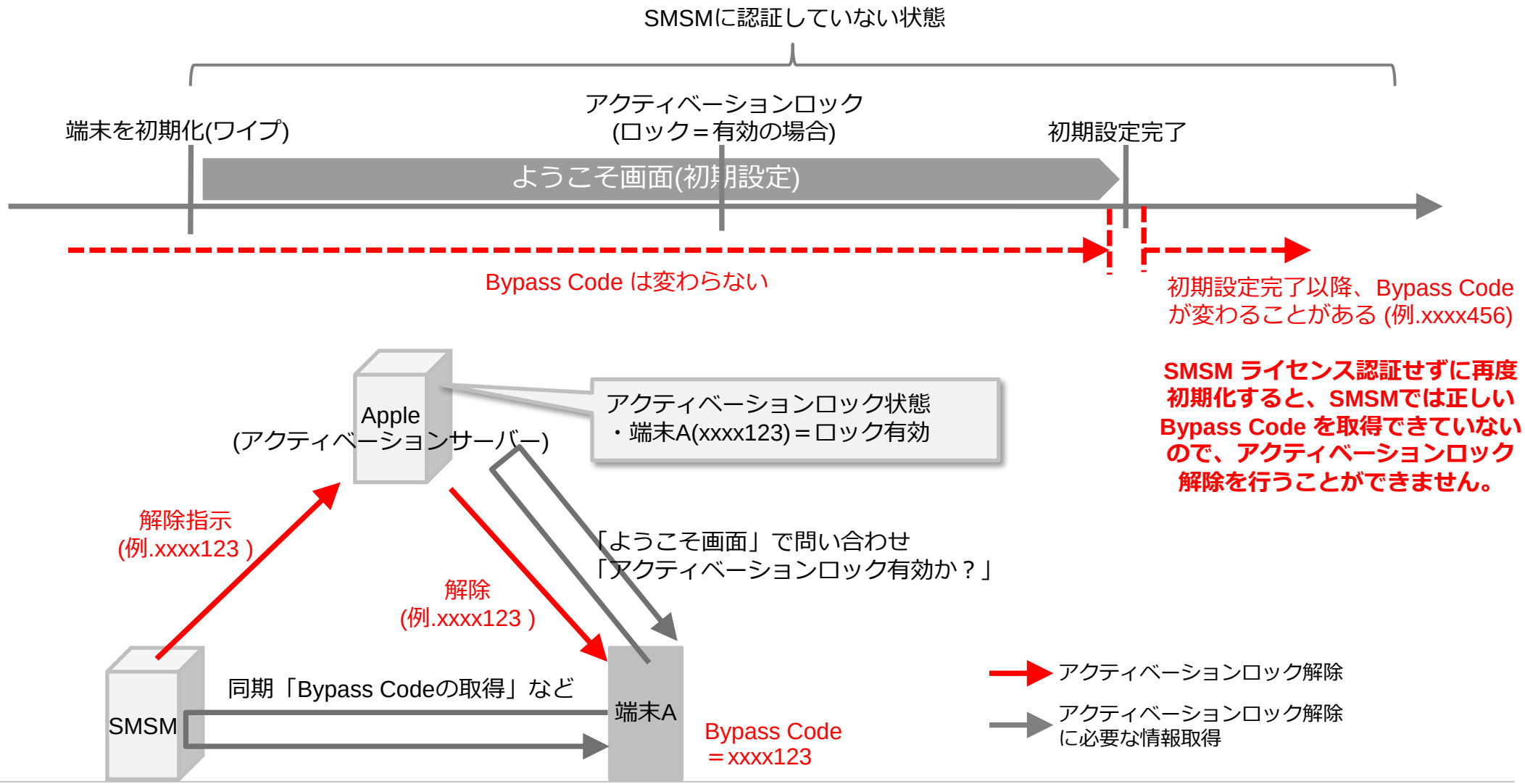
- Bypass Codeの取得契機は、ライセンス認証時、同期時に変更を検知した場合の2種類があります。

- Bypass Codeの変更契機は、端末初期化時です。　（Apple回答より）

- 端末が持っているBypass Codeと、管理サイトに表示されているBypass Codeが異なる場合、管理サイトからのアクティベーションロック(解除)が利用できません。

【参考】アクティベーションロック解除 の仕組み

アクティベーションロック解除は、SMSMで端末から取得している Bypass Codeを Appleのアクティベーションサーバーへ解除指示と合わせて送付することで、利用することができます。



iPadOS14 以前で発生している制約事項

②ABM (Shared iPad)

2020年9月9日更新

ABMでShared iPadを利用する場合、「教育」パッケージをONにする必要があるが、画面上ASM向けの文言になります。

回避策

OS仕様変更のため回避策はありません。

・「教育」パッケージを適用することでShared iPadの機能を利用することは問題ありません。

※「教育」機能パッケージが当たっていない企業で、DEPサーバートークンを登録すると発生します。

（設定 ＞ iOS ＞ DEPサーバートークン登録）

iOS14 以前で発生している制約事項

①メッセージ通知

2023年6月19日追加

iOS14以降のiPhoneで、メッセージ通知のオプション「端末での表示時にURLをリンクにする」を有効にしてURLを含んだメッセージを配信しても、iOSエージェントのメッセージ画面でURLリンクがタップできない
。

回避策

・なし

復帰方法

・なし

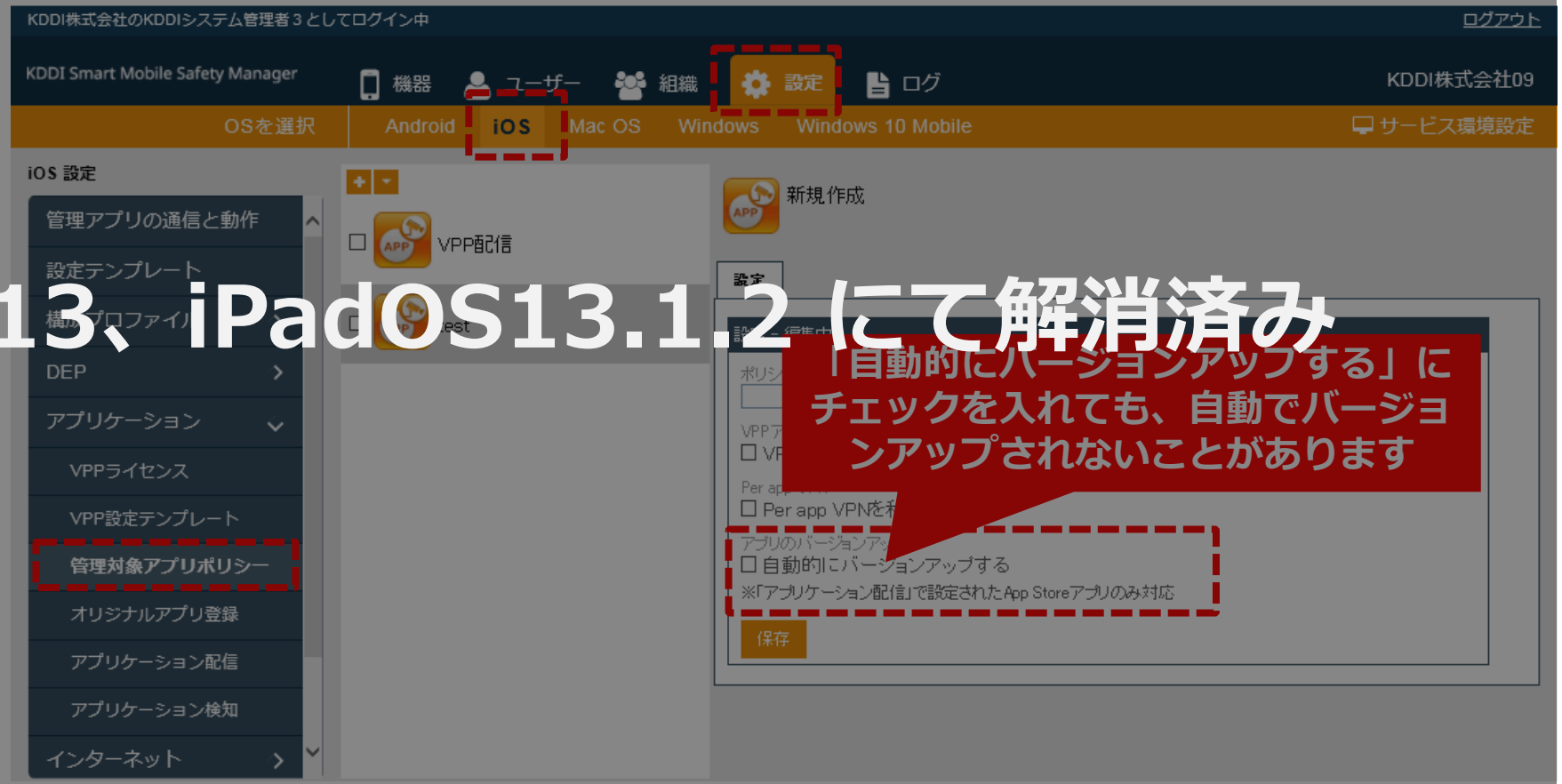
iPadOSのみ制約事項

③アプリケーション配信（自動バージョンアップ）

管理対象アプリポリシーで「自動的にバージョンアップする」をONにしてアプリケーション配信をしても、自動的にバージョンアップされないことがあります。

回避策

・App Storeから手動でアップデートする



iOS13、iPadOS13.1.2 にて解消済み

「自動的にバージョンアップする」にチェックを入れても、自動でバージョンアップされないことがあります

一部端末向け制約事項

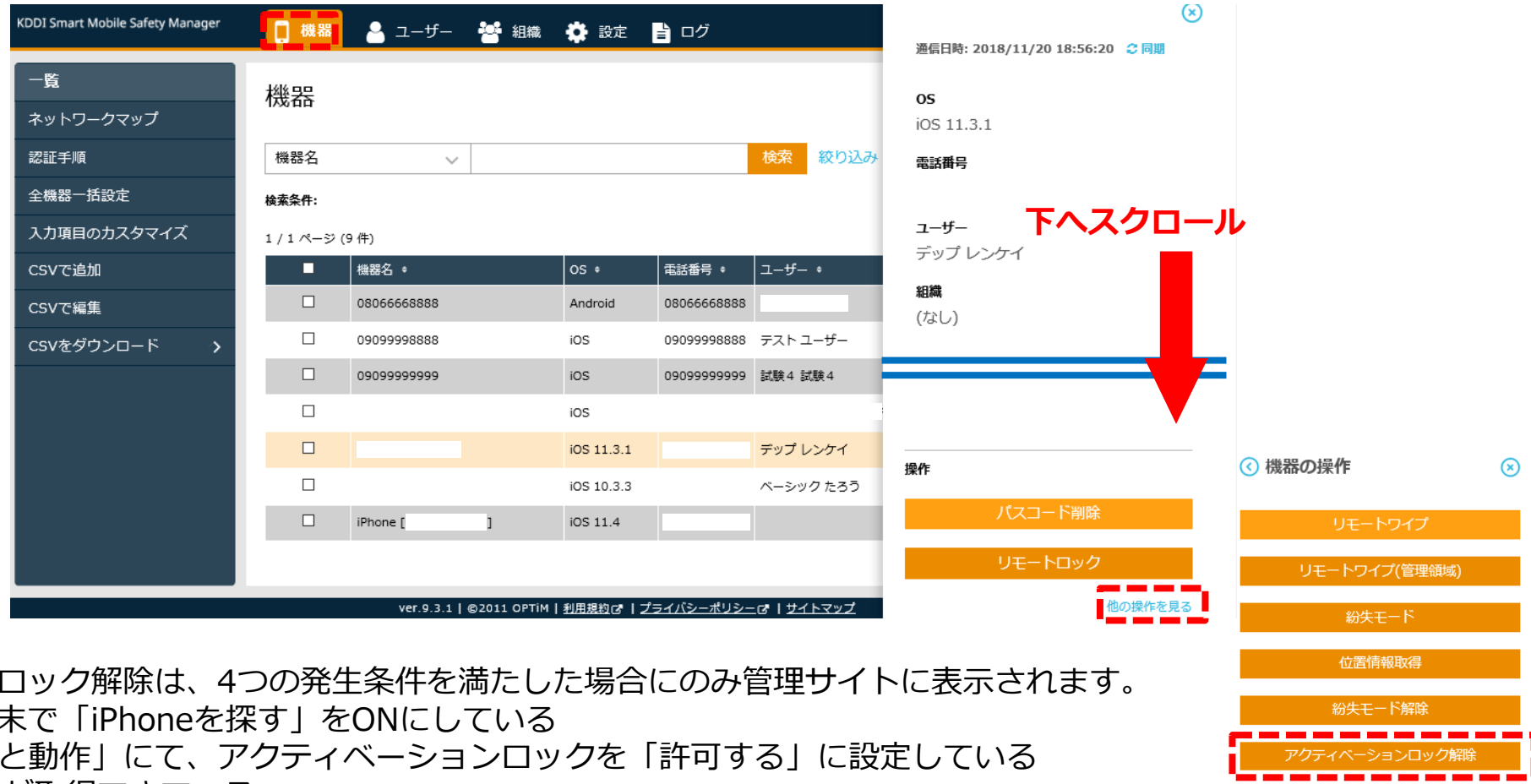
※Dual SIM端末で影響のある機能

①アクティベーションロック解除

iPhoneXS Max、iPhone XS、iPhone XR以降で発売されている端末(iPadも含む)でアクティベーションロック解除ができません。

回避策

・なし
（Apple ID/PWの手動入力が必要）



※アクティベーションロック解除は、4つの発生条件を満たした場合にのみ管理サイトに表示されます。
①監視対象端末　②端末で「iPhoneを探す」をONにしている
③「管理アプリの通信と動作」にて、アクティベーションロックを「許可する」に設定している
④端末のBypass Codeが取得できている

【参考】アクティベーションロック解除とは

機能概要

予め端末側で「iPhoneを探す」がオンになっていて、管理サイト側でアクティベーションロックを「許可する」に設定している監視対象モードのiOS端末に対して、アクティベーションロックを解除することができます。

メリット

これまで：アクティベーションロックが設定された際のApple IDとパスワードがわからないと、管理者が回収した端末の再利用はできませんでした。

これから：管理サイトから解除することが可能となり、よりスムーズにアクティベーションロックを活用することができます。

【こんなお困りごとはありませんか？】

・盗難対策として社員Aが自身のApple ID・パスワードを使用し「iPhoneを探す」をオンにして端末（監視対象モード端末）を利用。
社員Aが退職する際、「iPhoneを探す」をオフにしないまま、自身で端末を初期化せずに会社へ返却！
管理者はリモートワイプ機能を利用し、端末を初期化。再度アクティベーションして利用しようにも、社員AのApple ID・パスワードが要求され、社員AのApple ID・パスワードが分からないため、再利用できなくなってしまいました。

【これからは・・・】

・「iPhoneを探す」がオンになっている監視対象モードのiOS端末をKDDI Smart Mobile Safety Managerで予め設定を行い管理することで、管理サイトからアクティベーションロック解除指示を出すことができます。
これにより、管理者が安心してアクティベーションロック機能を利用することができます。

一部端末向け制約事項

※ iPhone SE（第3世代）で影響のある機能

①キッティング

iPhone SE（第3世代）（iOS15.4-iOS15.4.1）でモバイルデータ通信のみでキッティングしようとすると、アクティベートに失敗して、キッティングが完了できません。

回避策

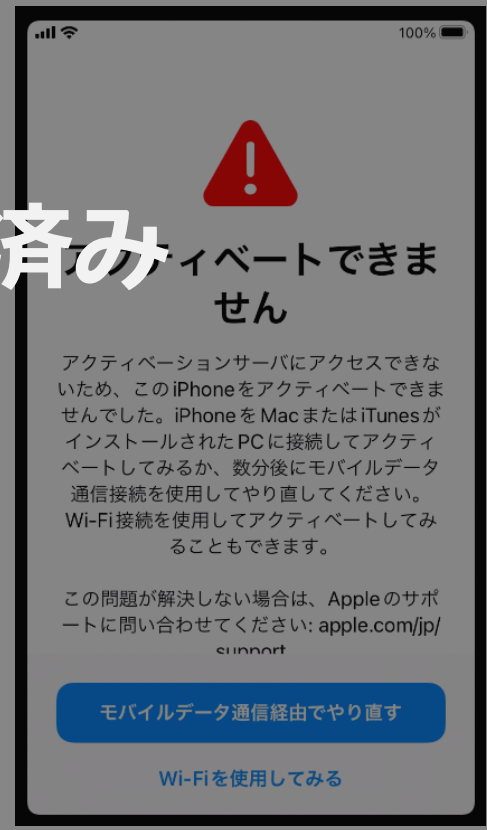
・Wi-Fiを用いてキッティングする。

・iOS15.5以上にアップデートする。

iOS15.5にて解消済み

復帰方法

・「Wi-Fiを使用してみる」を選択してWi-Fi情報を入力する。




Tomorrow, Together
KDDI